

「仕様書」にかかる別紙

## ○「ベリーツ」のイメージについての考え方

「大分6号」として8年をかけて開発された大分産のオリジナルイチゴ。  
甘みと酸味のバランスが良い。  
本来イチゴの旬は春だが、クリスマスなどの需要の高い時期から旬が始まる。  
紡錘型のいわゆるイチゴらしい形をしている。

名前の由来は「ケーキやパフェの様なスイーツみたいに美味しいイチゴ」。  
和風の名前が多い中で埋没させない様、敢えて馴染みのない違和感を持たせた。  
子供でも覚えやすく、コラボ商品を出しやすい名前に。

誕生日や記念日やクリスマスに食べる可能性の高い「ハレの日の果物」と  
イチゴを定義し、それに見合うキラキラ感のあるロゴデザインにした。

また、イラストレーターのわたせせいぞう氏にイラストを描いて貰い、  
その世界観を表現した。

平成29年に大分、令和元年に京都で本格デビューした。  
県内の他品種にはない贈答用アイテムを展開し、百貨店などの高級店でも取り  
扱いがある。